



# 川和中たより

令和3年11月2日発行

横浜市都筑区富士見が丘21-1

電話 941-1361/FAX 942-9965



<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/kawawa>



## 当事者意識の大切さ

校長 田原 裕

めっきり秋めいてきたこの頃、皆さまにはますますご健勝のことと拝察いたします。

感染者数の激減により、教育の場面においても、現在は徐々に制限が緩和されつつあります。

教育活動についても、今まで多くの制約があり我慢を強いられてきましたが、「できる喜び」「戻る喜び」に浸るだけでなく、コロナ禍だからこそ見直したり気づいたりしたことも大切にしながら、今後も学校教育に取り組んでまいります。ご理解、ご支援のほど、よろしくお願いいたします。

さて、街中では目前に迫った衆議院選挙に向けて、立候補者や支援者が、有権者に向け一生懸命に施策を訴える姿を見かけます。本校においても、生徒会役員選挙が公示され、9名の定数に対し、15名の生徒の立候補がありました。

「こういう学校にしたい。」「学校のこの部分を変えていきたい。」「自分はこういうことを大切にしたい。」など、それぞれの立候補者が、自分の想いや考えを選挙活動で訴えています。それは、学校生活を自分事として捉え、自らの力でよりよい学校づくりに参画しようとしている証であり、当事者意識を持っているからに他なりません。それはとても素晴らしいことで、大いに称賛されるべきことです。

日本財団が、「国や社会に対する意識」という調査を2019年に実施しました。これは、インド、インドネシア、韓国、ベトナム、中国、イギリス、アメリカ、ドイツ、日本の世界9か国の17~19才各1,000人の若者を対象に、国や社会に対する意識を聞いたものです。それによると、次のような結果が出ています。

	自分を大人だと思う	自分は責任がある社会の一員だと思う	将来の夢を持っている	自分で国や社会を変えられると思う	自分の国に解決したい社会課題がある	社会課題について、家族や友人など周りの人と積極的に議論している
日本	29.1%	44.8%	60.1%	18.3%	46.4%	27.2%
インド	84.1%	92.0%	95.8%	83.4%	89.1%	83.8%
インドネシア	79.4%	88.0%	97.0%	68.2%	74.6%	79.1%
韓国	49.1%	74.6%	82.2%	39.6%	71.6%	55.0%
ベトナム	65.3%	84.8%	92.4%	47.6%	75.5%	75.3%
中国	89.9%	96.5%	96.0%	65.6%	73.4%	87.7%
イギリス	82.2%	89.8%	91.1%	50.7%	78.0%	74.5%
アメリカ	78.1%	88.6%	93.7%	65.7%	79.4%	68.4%
ドイツ	82.6%	83.4%	92.4%	45.9%	66.2%	73.1%

「自分だけが行動しても変わらない。」「自分だけが言っても変わらない。」よく聞くことばです。

上の結果を見て、これからの時代を生きていく子どもたちに「大切なことは何なのか?」「それをどのように伝えたり、気がつかせるのか?」等、私たち大人がまず考え、意識を変えていくきっかけにしなければならないと感じています。当事者意識を持たない人は、必ず他人の所為にします。自分事として考えられないから、責任転嫁をします。だれもが、学校や家庭や社会を構成している一人であることを理解することが大切だと思うこの頃です。

# 11月・12月初めの行事予定

11月		
1	月	3年 進路面談
2	火	3年 進路面談 創立記念日🎉
3	水	文化の日
4	木	3年 進路面談 体操着販売(14:30)
5	金	3年 進路面談
6	土	
7	日	
8	月	生徒会役員選挙 選挙管理委員会
9	火	代表委員会 3年学級写真
10	水	個別支援学級遠足
11	木	若葉祭共同制作 若葉祭実行委員会
12	金	個別支援学級遠足(予備日) テスト3日前(部活動なし)
13	土	
14	日	
15	月	2学期期末テスト(1日目)
16	火	2学期期末テスト(2日目)
17	水	2学期期末テスト(3日目) 若葉祭共同制作 3年個人写真 PTA 役員会
18	木	2年生職業講話 若葉祭実行委員会 体操着販売(14:40)
19	金	2年生職業講話・食育教室
20	土	
21	日	
22	月	
23	火	勤労感謝の日
24	水	専門委員会
25	木	1年 職業講話
26	金	
27	土	
28	日	
29	月	代表委員会
30	火	三者面談(全学年)
12月初め		
1	水	三者面談(全学年)
2	木	三者面談(全学年)
3	金	三者面談(全学年)
4	土	
5	日	
6	月	三者面談(全学年)
7	火	
8	水	若葉祭実行委員会
9	木	
10	金	

## 【11月からの時程と部活動について】



11月より校時表を変更してお配りしております。朝は、8時40分までに着席できるよう登校してください。授業は、50分授業となります。5時間授業の日は、14時40分頃、6時間授業の日は、15時40分頃の終了となります。詳しくはお子様に配付している月行事予定表をご確認ください。また、11月から1月までの部活動の完全下校時刻は、17時となります。活動要件は変わりなく以下の通りです。

※活動日数:週4日以内(土日祝日含む。土日の活動はいずれか1日)

※活動時間:平日は2時間以内・土日祝日は3時間以内  
※活動時間は、準備・片付け・ミーティング・朝練習などの活動も含めています。

## 【令和3年度 若葉祭について】



感染症拡大の情勢を受けて、10月の開催を延期しております今年度の若葉祭を12月中旬に開催をする予定です。

今年度は、展示を中心とした内容で、制作や発表される作品を鑑賞する方法に計画を見直しして行います。詳細は後日お伝えいたします。もうしばらくお待ちください。

## 【校内相談窓口】



### 《学校カウンセラー相談》

お子様の学校生活やご家庭での悩みや不安などについて、カウンセラーが相談を受けます。

◇担当 カウンセラー 高木 智恵

◇相談日 毎週火曜日 9:00~17:00

(11月2日・9日・16日・30日、12月7日・14日)

☎お申し込みは、カウンセラー直通ダイヤル

Tel 941-7075 まで

※日程が合わない場合には、都筑区福祉保健センターでも相談を受けることができます。

☎区子ども・家庭支援相談 Tel 948-2349

平日 8時45分~12時 13時~17時

### 《スクールソーシャルワーカー相談》

学校生活での困りごとを抱えているお子様、保護者の方を福祉の面から支える専門員への相談を受けています。

◇担当 スクールソーシャルワーカー 矢木 義子

☎相談を希望される方は、担任又は担当(生徒指導専任教諭 星野 篤史)まで



## ◆◆生徒会役員選挙◆◆



11月8日、今年度の生徒会役員選挙が行われます。先輩が築いた川和中学校のよさを受け継ぎ、さらにより良い学校をつくっていかうとする行動力と勇気ある立候補者に拍手を贈りたいと思います。立候補者の言葉に込められた川和中学校をよりよくしたいという志、情熱、創造力に耳を傾け、一人ひとりの声を一票に託します。明日の川和中を共に創っていきましょう。

旧生徒会役員や選挙管理委員の皆さん、大切な選挙の準備・運営をありがとうございます。

## \*皆さまのご支援に感謝申し上げます\*

### 【PTA 活動エントリー・放課後の学び場 活動ご協力へのお礼】

今年度もPTA活動については、感染症対策と子どもたちのよりよい学校生活を支えるPTA活動の両立を目指して、その都度、活動ボランティアを募集する「活動エントリー方式」で活動を行っております。

10月25日～27日の授業参観にあわせてPTA活動エントリー「グリーンキーパーズ」の活動が行われました。ご参加いただき、花壇やプランターに花の苗を植えていただき、学校が彩り豊かになりました。ご協力いただきありがとうございました。今年度は、「花壇の里親」の募集も行っております。今後の活動にも、お時間がございましたら、是非ご参加ください。



学校と地域をつなぐ「放課後の学び場」の取り組みでは、加賀原地域ケアプラザを会場に学校地域コーディネーターの方による英検対策講座を設けてくださいました。今後も、放課後の安心できる居場所に放課後の学び場をご利用ください！



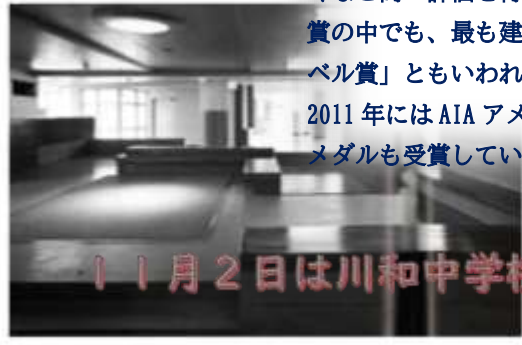
## 校舎

設計者は、横 文彦さんという方で、国内外で数々の賞に輝くなど高い評価を得ている著名な建築家です。多数ある受賞の中でも、最も建築家にとって名誉ある「建築界のノーベル賞」ともいわれるプリツカー賞を1993年に受賞し、2011年にはAIAアメリカ建築家協会から贈られるゴールドメダルも受賞しています。



創立当初の校舎

新建築 1981年10月号より転載



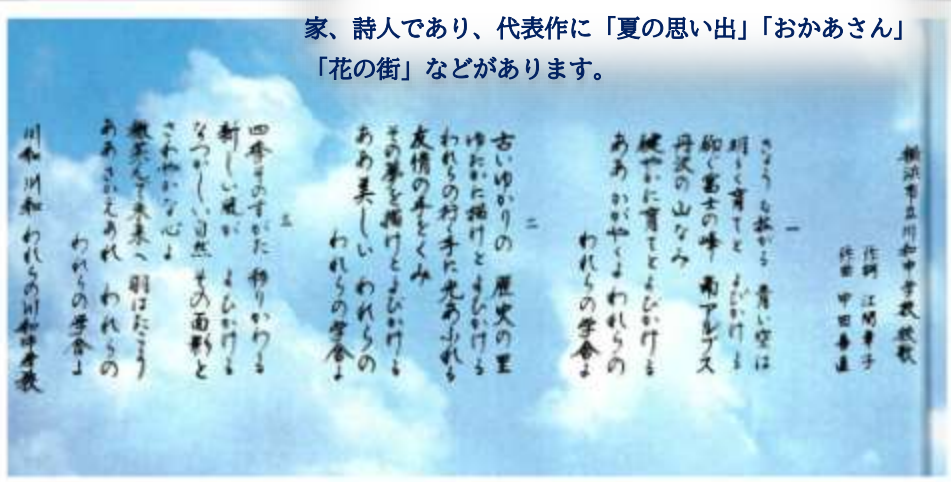
11月2日は川和中学校の創立記念日です。



## 校歌

作曲者は、中田 喜直さん。誰もが口ずさんだこともある「夏の思い出」や「めだかの学校」「ちいさい秋みつけた」「雪の降るまちを」などを生み出している作曲家です。

作詞者は、江間 章子さん。昭和を代表する唱歌の作詞家、詩人であり、代表作に「夏の思い出」「おかあさん」「花の街」などがあります。



開校式の様子



## 校章の由来

校章は文政10年頃から川和で栽培され有名であった「川和の菊」の若葉を2枚重ねたものと校名でこうせいされています。若々しい川和中学校の生徒が、学習にスポーツに励み、菊が美しい花を咲かせるように、立派な人になってほしいという願望が込められています。



記念誌「川和」より ～昭和55年当時～